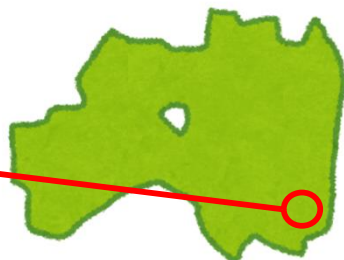


産地パワーアップ事業の取組事例(28年度:いわき地域農業再生協議会) (福島県)

取組の概要

- 対象品目 : 水稻 (産地面積48.2ha)
 主な取組主体 : 農業者2名
 成果目標 : 生産コストの10%以上の削減
 基準 (H28年度) 104,892円/10a
 目標 (H31年度) 93,896円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業 (機械リース)
 (トラクター、ロータリー、モア、プラウ、
 色彩選別機、自動計量機、乾燥機2台)

福島県
 いわき市
 大久東部・小久地区



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

当産地は中山間地域に位置し、高齢化や担い手不足等の課題を抱えている。そこで、基盤整備事業を実施し大区画化したほ場を担い手に集積し、大区画ほ場・大規模経営に適した高効率機械の導入と飼料用米の取組を支援することにより、作業の集約・効率化を図り、生産コストの削減と収益力の強化を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①基盤整備事業による大区画ほ場を農地中間管理事業を活用し農地集積
- ②大区画ほ場・大規模経営に適した高効率機械のリース方式による導入支援
- ③飼料用米の取組拡大

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①高効率機械の導入による労働費の軽減
- ②作付面積の拡大によるコストの低減
- ③飼料用米の取組による機械利用効率の向上

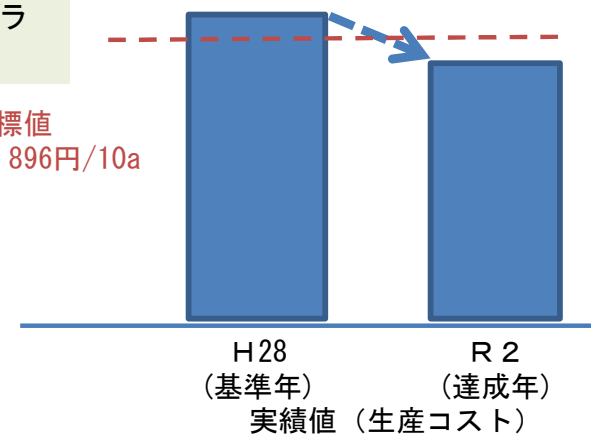
【事業実施による間接効果】

- ①担い手への農地集積による品質の高位均一化
- ②品質の高位均一化によりいわき産米のブランド力の向上

生産コストを
15%削減
 (達成率142%)

104,892円/10a 89,315円/10a

目標値
 93,896円/10a



「Iwaki Laiki」



推進体制

いわき農林事務所(県)
 いわき市
 JA福島さくら

いわき地域農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体(農業者)との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(県、市)及び農協によるサポート体制

取組主体(農業者)
 ①取組計画の作成
 ②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・いわき地域の恵み安全対策協議会「Iwaki Laiki(いわき産コシヒカリ)」のパッケージ(米袋)を制作
- ・当該品の宣伝・普及